

審議会等の会議の概要の記録

会議の名称	令和4年度 第3回甲州市社会教育委員の会
開催日時	令和5年3月22日(水) 午後2時00分～
開催場所	甲州市中央公民館 2階 大会議室
議題	(1) 「高校生の目を通して地域を考えよう」～高校生と大人の本音の語り場～ について (2) 令和4年度社会教育委員の会活動報告及び令和4年度社会教育事業の実施報告について (3) その他
出席委員	古屋美知子委員、飯島節生委員、窪田道忠委員、田邊康仁委員、中村澄可委員、山本 睦委員、坂本博彦委員、里吉武仁委員、丹澤千明委員、小林正治委員、三枝照子委員、石田春雄委員
会議の公開又は非公開の区分	公開
会議を一部公開又は非公開とした場合の理由	
傍聴人の数	0人
審議概要	別紙のとおり
事務局に係る事項	※事務局の課・担当名、連絡先、出席人数等 甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 連絡先：甲州市教育委員会 生涯学習課 社会教育担当 0553-32-5097 5人
その他	

令和4年度 第3回甲州市社会教育委員の会 会議録

日時：令和5年3月22日 水曜日

午後2時00分～

場所：甲州市中央公民館

2階 大会議室

出席者 12名

欠席者 4名

事務局 5名

傍聴者 なし

1 はじめのことば

2 議長あいさつ

3 議事

(1) 「高校生の目を通して地域を考えよう」

～高校生と大人の本音の語り場～について

(2) 令和4年度社会教育委員の会活動報告及び令和4年度社会教育事業の実施報告について

(3) その他

議長：それでは、議題の(1) 令和4年度「高校生の目を通して地域を考えよう」～高校生と大人の本音の語り場～についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局：説明させていただきます。昨年12月5日に開催いたしました高校生との語り場につきましては、多くの委員の皆様にご参加、ご協力いただき本当にありがとうございました。本日の資料1ページから8ページの資料1をご覧ください。語り場終了後に、参加していただきました委員の皆様を対象にアンケートをお願いいたしました。お忙しい中ご協力いただきありがとうございます

ございました。委員の皆様にいただきましたご意見、感想をまとめさせていただきましたのでご報告させていただきたいと思います。また、本日の資料とさせていただきますが、今年度の語り場の報告書を作成いたしました。こちらの報告書には参加していただいた生徒の皆さんの感想なども記載させていただきます。こちらもぜひ、ご覧いただきたいと思います。

はじめに、「語り場を通して、社会教育委員として感じたこと、考えたことは何ですか。」とお伺いしました。委員の皆様からたくさんのご意見をいただきました。「高校生と話をすることで、様々な意見や考えを聞くことができ、若いエネルギーを感じ、元気をもらった」という感想が多くありました。また、「高校生が普段から学習を積み重ね、自分の考えをしっかり持っていることに驚いた」という意見も多くいただきました。「社会教育委員として、今できることは何かを考え、積極的に様々な活動や研修等に取り組む必要があると実感した」という感想もいただきました。次に、「これまでの語り場の経験を通して、社会教育委員として実践されたことがありますか。」とお伺いしました。委員の皆様からいただいたご意見で多かった回答が、「地域の方や、身近な方へ高校生の意見や話題を提供したり、公民館活動など地域活動へ参加している」方が多くいらっしゃいました。また、「今年度のテーマでありますSDGsについて、意識して生活するようになった」というご意見もいただきました。初めて参加された委員の皆様からは、「これから高校生に進んで挨拶や声掛けをしていきたい、今後の地域活動などで、高校生からの意見をもとに、何らかの実践を試みたい」という意見をいただきました。また、「今後、この体験をどのようなことにいかせると考えますか」との問いには、「地域の活動などで、高校生の意見や活力を地域の活性化に結び付けることができるような実践をしていきたい」というご意見を多数いただきました。「高校生と話し合う活動により、高校生が元気に住みやすい甲州市になるために考えてくれている意見を大切に、日常生活の中で活かしていきたい」という意見も多くいただきました。次に5ページですが、「語り場を経験した高校生に期待することはどんなことですか

か。」の質問には、「大人たちと話すことを積極的にしてほしい」というご意見を多くいただきました。「語り合った様々な考え方を思い出し、社会の中で、自分の考えをしっかり持ち、今後の活動に活かして欲しい」というご意見が多くありました。また、「甲州市に興味を持ち、甲州市の魅力を感じ、発信してもらいたい」というご意見もいただきました。そして、今後「甲州市社会教育委員の会として、今後どのような目標をもって語らい場を行うことが必要だと考えますか。」と伺いました。ご意見の中には、「高校生だけでなく、いろいろな場で対象を広げて語らい場を設けることができればよいと思う」や、「テーマの焦点をしぼって話し合うことも必要なのは」などがありました。また、「社会教育委員として、若者への理解を深め、資質・能力向上のために研修会に積極的に参加するなど、知識を広めることも必要である」というご意見もいただきました。最後に、「高校生と語りあってみたい内容が具体的にありますか」とお伺いしました。「男女共同参画や甲州市パートナーシップ制度について」というご意見を多数いただきました。また、「地域活性化や地域防災など、地域の課題と解決策等について」というご意見も多くいただきました。「年配者に期待する事、高校生に期待する事について本音で話してみたい」というご意見もいただきました。また、その他の意見としまして、開催方法について、「語らいの時間を増やすなど、時間配分の工夫が必要である」など、様々なご意見をいただきました。本当に貴重なご意見をいただきありがとうございます。この語らい場は、高校生と語り合える貴重な機会ですので、さらに充実した内容となるよう、事務局としても開催方法などについて検討してまいりたいと考えております。また、先週3月13日に山本議長と塩山高校へ関ブロ山梨大会の最終報告と来年度の語らい場の開催について、ご挨拶に伺いました。担当の古守先生とお話ができまして、来年度の開催につきまして継続して開催していただけるようお願いをいたしました。4月になりましたら、あらためて山本議長と一緒に開催につきまして、校長先生へお願いのご挨拶に伺いたいと思っております。今回、委員の皆様からいただきました貴重なご意見につき

まして、塩山高校にお伝えし、来年度の語り合い場の開催方法、テーマなど、より充実した内容で開催できるよう塩山高校と検討・協議を進めていきたいと考えております。以上です。

議 長：事務局の説明が終わりました。委員の皆様から、たくさんのご感想、ご意見をいただきありがとうございました。今回いただいたご意見以外に、何かご質問など、ありましたらお願いします。

委員 A：今回の出来上がった報告書を見ると、非常に素晴らしい出来だと思えます。自分のいた班のことは分かりますが、別の班の詳しい内容というのはなかなか様子が分からない部分もありました。それを今回、事前に送られてきた資料と一緒に読ませていただきまして、非常に素晴らしかったです。高校生と社会教育委員の内容がしっかり記録されていることに興味しました。今まではなんとなく盛り上がっていないなということがありましたが、各班の努力で素晴らしい成果につながったということは、次回につながるのではないかと感じました。

議 長：委員の皆様には、資料を事前に送らせていただき、目を通してきていただいたと思います。事務局の方でも素晴らしい報告書を作成いただき本当にありがとうございました。他のグループの方の内容がとてもわかりやすく入っていたことで、まとめをしっかりといただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。語り合い場の開催方法、テーマなどにつきましては、委員の皆さんからいただいた、貴重なご意見を塩山高校にお伝えしたいと思います。昨年の関ブロ山梨大会、また塩山高校の語り合い場にも、お忙しい中、教育長、生涯学習課長にも参加していただいております。そこで、お伺いしたいのですが、実際に語り合い場に参加されて、語り合い場についての感想、また今後の開催方法などに関しまして、展望やお考えなどがありましたらお聞かせいただきたいと思いますがよろしいでしょうか。

教 育 長：この山梨大会の報告書をいただきまして、付箋を付けさせていただきましたが、発言時の写真を掲載していただきありがとうございます。大会時にもお話をさせていただきましたが、初めて高校生との語り合い場に参加をさせていた

だいて、本当に素晴らしい内容だったと思っています。最初は、高校生と社会教育委員の皆様がお話するだけでも良いのではないかという考えを持っていましたが、それを超えて高校生も委員の皆様方も、真剣にSDGsを視点にした甲州市のまちづくりについて考え、話し合いをしていただけたということで、今後もぜひ続けていっていただけたらと思っています。今事務局の方で委員の皆様方からいただいた色々な考え方について整理していただきましたので、今後の方向性についてはまずは委員の皆様方からいただいたご意見等をもとに今後どういう形で実施していくのかということを決めていただければ良いと思っています。私個人としましては、塩山高校生との語らい場を盛り上げていっていただきたいと思っています。子どもたちには塩山高校に通っていて楽しいと思ってもらいたいですし、私達も市民として塩山高校の子どもたちを応援していきたい、頑張ってもらいたいということを考えていけるような高校に、この語らいの場を契機として、盛り上げていくのはいかかかと思っています。私の小学校現場での経験だと、高校の方にもあると思いますが、総合的な学習の時間というものがあります。それはきちんと年間の指導計画が出ていますので、社会教育委員の皆様と高校生との語らい場を、その総合的な学習の時間の中に位置づけていただけたらと思います。新年度になりましたら、事務局と議長、委員の皆様方でお伺いして、語らい場をより発展させて塩山高校を盛り上げるという内容で協議を進めていただければ良いのではないかと思います。語らいの内容で、SDGsの内容は多岐に渡っており、もう少し絞り込んでもいいかなということは考えました。また、男女共同参画社会ですとか、パートナーシップ制度、そういったものも取り上げて、高校生の皆さんと考えていけるようになったら良いと思います。私はできたら社会教育委員の皆様が3回程度関わりを持てればと思っています。例えば、SDGsの講師に内田智之先生という方がいます。その先生をアドバイザーとしてお招きし、社会教育委員の皆様と高校生と一緒に聞いて、その話を基に語らいの場を設けてその後、今からの子どもたちに求められていることは考えること、さらにその自分の考えを行動に移していくとい

うことです。高校生が甲州市のまち作りに関わり、自分たちが考えた行動に、社会教育委員の皆様とも一緒に参加していくというような形をとることができるが良いと感じています。そういった形で冒頭申し上げましたが、塩山高校を盛り上げていくという視点を、できましたら来年度の活動内容のところでご検討いただければありがたいと思います。

議長：語らい場について、様々なご意見をいただきありがとうございました。来年度になりましたら、本日いただいた委員の皆様や教育委員会のお考えなども踏まえまして、塩山高校と語らい場の開催方法、テーマ等について協議を進めていきたいと思えます。では、次に議題の（２）令和４年度社会教育委員の会活動報告及び令和４年度社会教育事業の実施報告についてを議題とします。事務局から説明をお願いします。

事務局：それでは、令和４年度社会教育委員の会活動報告及び令和４年度社会教育事業の実施報告について説明させていただきます。はじめに、社会教育委員の会関連事業報告について説明させていただきます。９ページから１２ページの資料２をご覧ください。今年度につきましては、コロナ禍ではありましたが、１１月に２日間に渡り、第５３回関東甲信越静社会教育研究大会山梨大会が開催されました。多くの委員の皆様には、大変お忙しいなかご参加ご協力いただき、本当にありがとうございました。山本議長におかれましては、大会の副実行委員長として、実行委員会など会議への出席や事前準備、さらには、山梨県代表としての分科会での事例発表など多岐にわたり、本当にお疲れさまでした。また、委員の皆様には、年３回の定例会をはじめ、研修会への参加や、塩山高校にご協力いただき開催いたしました高校生との語らい場や、語らい場の事前勉強会などの様々な活動におきまして、大変お忙しいなか、多くの委員の皆様にご参加いただきまして、心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。次に、１３ページから１６ページの資料３をご覧ください。生涯学習課社会教育事業をまとめさせていただきました。社会教育事業につきましても、委員の皆様には大変お忙しいなかご協力をいただき、ありがとうございました。甲州市アドベンチャークラブの年間を通

しての活動や、勝沼・大和少年ジャンボリーの開催、青少年育成甲州市民会議主催の講演会などの青少年の健全育成事業、また、4回にわたる宇宙の学校の開催や市民教養講座の開催など、生涯学習の推進を行いました。社会教育事業につきまして、昨年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、中止となった事業も多くありましたが、今年度は、コロナ禍ではありましたが、新しい方法を取り入れるなど、実施方法等を検討しながら、予定してありましたすべての事業を行うことができました。委員の皆様のご協力に感謝申し上げます。事業を行うなかで、学びを続けていくことが大切であると感じております。来年度につきましても、委員の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。以上です。

議長：説明が終わりました。ご意見や、ご質問、ご感想などありましたらお願いいたします。関ブロの報告書も見させていただきましたが、素晴らしい報告書が出来ております。皆様が背中を押していただいたことが、このような結果に繋がったこと、甲州市を県内外で評価していただいたということが成果となったのではないかと感じております。また、甲州市アドベンチャークラブがとても活発に活動されていると感じました。実際子供たちが色々な体験をするということを、報告書で拝見しております。

委員 A：関ブロの素晴らしい報告書が出来あがってきていますが、2日目に開かれた分科会で山本議長が、高校生との語り合いの中で得たものを素晴らしい内容で発表していただきまして、分科会でも多くの参加者が集まっていただき、非常に関心を示してくれました。なかなか議題としては他にない形を取りましたので、非常に多くの方の意見が出ていました。この山梨大会の山梨を代表して発表していただき、山本議長ありがとうございました。

議長：その分科会の中で2名程の方が、語り合いの現場を見てみたいということで、語り合いの方に参加していただきました。そのお二方のご意見も報告書に載っております。その中に教育長さんのご意見も載っております。

委員 B：甲州市アドベンチャークラブのことで、クラブが始まった頃は希望者が少ない人数だったと思います。今年度の内容を拝見しますと、定員を超えるぐら

いの本当に多くの方が参加しているということで、事務局の成果だと思えます。参加者が少なかった頃から比べて、参加した子どもたちの様子などもご覧になっていて、自然体験が少なくなっている現状があると良く耳にしますが、この事業の中で事務局が感じている子どもたちの変化などがあればご紹介いただければと思います。

事務局：参加していただいている子どもたちの多くは、このアドベンチャークラブの良さを一度参加してみて実感していただくと、次回も参加していただける子が増えています。その中でも、1回参加した子が次に初めて参加した子に対してやり方を教えてくれたり、指導してくれたりして、リーダーシップを発揮してくれています。低学年生と高学年生に分けて実施させていただいておりますが、低学年生の中では3年生が中心となり、下の学年の子たちを引っ張ってくれています。高学年生に関しては6年生が最上級生になりますので、4年生、5年生を指導してくれているといった形です。年間通して繰り返し参加してくれる子どもたちの成長を見ることができますし、一つの体験活動の中でも、子どもたち同士で教えあえていることで、非常に成長スピードが速いと感じています。

議長：参加した子どもたちが活動に参加した後、今後もやりたいと言う子どもたちが増えているのではないかということを少し感じたこともあります。子どもたちのきっかけ作りとしてとてもいい活動ですので、今後ともぜひ活動を充実していただければと思います。よろしく願いいたします。それから勝沼・大和少年ジャンボリーについて、お話を伺いたいのが1点と、「甲州市はたち たびだち20歳の出発」というのが、社会教育委員で答申をさせていただいた部分ですので、まずジャンボリーの方の状況はいかがですか。

事務局：私どもの頃は勝沼地区のみで開催しており、130人～150人程の規模で小学校6年生を対象に勝沼、祝、東雲、菱山小学校を対象に開催しておりました。内容は、菱山の大滝山キャンプ場を利用しまして、2泊3日でキャンプを行っておりました。以前はハイキングやキャンプファイヤー、炊事体験など色々な体験を各班に別れてテント等を作って共同作業をしておりまし

た。ただし、最近につきましては、コロナ禍ということもあり、実行委員会の中で日帰りではどうかという意見が多く、令和3年度、4年度は勝沼中央公園グラウンドを使用しまして、山梨幼児野外教育研究会の方を講師に迎えまして、勝沼・大和の5小学校の6年生を対象に、今年度は51名が参加しました。十数名が参加できなかった理由は、コロナにかかってしまった、また、スポーツ大会等でやむを得ず参加出来なかったという理由がございます。保護者からの意見としましては、もう少し長い時間、5小学校の子どもたちの親睦交流を深めていただきたい、また、可能であれば炊事やキャンプファイヤーを体験し、1泊程度での実施を検討してもらいたいというご意見がありました。今後、勝沼中央公園グラウンドも含め、大和自然学校や予算関係等を検討し、内容も一工夫加えて、令和5年度の甲州市勝沼・大和少年ジャンボリーに向けて協議を進め、改善できるところは改善するという形で進めていきたいと考えております。

議 長：次に「甲州市^{はたち}^{たびだち}20歳の出発」の内容や、開催状況はどうだったかお伺いしたいと思います。

事務局：社会教育委員の皆様から令和元年度に答申いただきました「成人式のあり方について」ですが、今年度「甲州市^{はたち}^{たびだち}20歳の出発」と名称変更して開催しました記念すべき1回目となりました。対象者の参加割合としましては、今までと変わらず約8割程度、対象者は371名に対して、参加者が302名のご参加をいただきました。コロナ禍で3回目の開催ということで、感染対策をしながら、受付は密を避けてスムーズに行っていただくために、対象者の方には、事前に出欠席のご連絡をいただく対応をとらせていただきました。ここ3年間は式典自体を、時間短縮や規模縮小で開催させていただいている経過がございます。甲州市は実行委員会形式という形で、その年の対象者の中から実行委員を募り、実行委員長や司会を決めて開催しており、実行委員会の方々をもっと前面に出るような形で開催したらどうかというご意見もいただいているため、今後どのような形で開催していくかということは今後検討していきたいと思っております。

議 長：では他に何かありますか。よろしければ、次に、議題の（３）その他ですが、この際ですので、委員のみなさんから何かありましたらご発言をお願いします。

委員 C：勝沼少年ジャンボリーは、旧勝沼町内の小学校の子どもたちだけが対象だったところへ、大和町の子どもたちが勝沼中学校へ通うようになり、勝沼・大和で実施することになりましたが、塩山地区の方でも同じようなものがあれば良いということは常々思っていました。ただし、勝沼の場合は長い歴史があり、実行委員会組織のもと、大滝山キャンプ場で実施してきたという実績があります。それが今も続いておりますが、甲州市全体で考えた場合に、旧塩山地区の方の子どもたちにも、何かこういう取り組みがあれば良いのではないかと常々思っていました。

議 長：それでは、事務局から何かありましたらよろしく願いいたします。

事務局：その他としまして、事務局から３点ございます。１点目ですが本日の資料最後のページになりますが、令和５年度開催の第５４回関東甲信越静社会教育研究大会栃木大会について、ご説明させていただきます。２月２２日時点の開催概要になりますが、１１月２１日（火）１１月２２日（水）に栃木県宇都宮市内を会場に開催される予定でございます。お忙しい時期とは思いますが、ぜひ多くの委員の皆様にご参加いただきたいと思っております。詳細につきましては、決定次第、お知らせをさせていただきます。よろしく願いいたします。２点目ですが、後ほど委員の皆様にご覧いただきたいと思っておりますが、関ブロ山梨大会の報告書が完成いたしました。ご覧いただきまして購入を希望される委員の方がいらっしゃいましたら、事務局までご連絡ください。恐れ入りますが、購入代金が１，０００円となります。ご了承ください。３点目ですが、山梨県教育委員会から、令和５年４月改訂の社会教育委員の手引きおよび社教連会報が届きました。本日、お手元に配布させていただきましたのでご確認いただき、ぜひ、ご活用いただきますようお願いいたします。以上です。

議 長：説明が終わりました。みなさん、よろしいでしょうか。よろしければ、以上

で議事は閉じたいと思います。スムーズな議事の進行にご協力いただきありがとうございました。また、今年度、最後の社会教育委員の会となりましたが、委員の皆さまには、お忙しい中、多くの会議、事業等にご出席いただき、また、貴重なご意見をいただき、ありがとうございました。来年度も引き続きご協力いただけますよう、よろしく願いいたします。では、事務局へお返しします。

事務局：山本議長、議事の進行ありがとうございました。

5. おわりの言葉